

「中学校第3学年 英語(予備調査問題)」について

1 予備調査問題の特徴

- (1) 「聞くこと」(10分)、「読むこと」(20分)、「書くこと」(15分)の計45分。その後、各校のパソコン端末を使用して「話すこと」の調査(約5分)を実施した。
- (2) 各領域(技能)とも「主として『知識』に関する問題」と、「主として『活用』に関する問題」に分かれており、「書くこと」以外は、ほぼ同数程度出題された。
- (3) 各領域(技能)の最後の1~2問は、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」を併せてみる「記述式/口述式」の問題となっており、内容理解につまづきがあるのか、英語表現につまづきがあるのかについて尋ねる「アンケート」が付随している。
- (4) 「予備調査問題一覧表」の「出題の趣旨」は、各校においてCAN-DOリストを作成、または改善を図る際の参考として是非活用したい。

※ 各領域における「記述式/口述式」問題の概要

「聞くこと」	英語の先生から、お別れするマイク先生と一緒に何かをしようという提案を聞き、アンケート用紙に自分の意見を書く。
「読むこと」	英字新聞に投稿されたある中学生の意見文を読み、その意見に対する自分の考えとその理由を書く。
「書くこと」	初めて日本を訪れる外国人観光客向けに、「日本らしいお土産」を紹介する記事を書く。
「話すこと」	リチャード先生とナオミのやり取りを聞き、その内容を踏まえて即興で質問をする。 (準備のための時間なし)
	シンガポールの姉妹校の生徒に、テレビ電話で自分の学校について紹介する。 (準備のための時間あり：1分間)

2 特徴的な問題の例

○ 大問6 (「読むこと」【活用】)

6 英語の授業で、身近なものを調べて発表することになりました。次の英文は、ある生徒が、チョコレート(chocolate)について調べた発表原稿です。これを読んで、発表の始めに話の流れを示すスライドとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

Hello, everyone. Do you like chocolate? I think many people do. Now, I'm going to tell you about its history.

People in ancient Mexico started to use cacao to make chocolate. It was different from chocolate today. People drank chocolate. They thought it was good for their health. It was a kind of medicine and very expensive.

How did chocolate first come to Japan? During the Edo period, people from Europe brought chocolate to Nagasaki. During the Meiji period, some people learned about making chocolate and wanted to make it in Japan. They tried very hard and finally they could. But it was still expensive.

Some confectionary companies began to make chocolate during the Taisho period. After World War II, chocolate became sweeter and cheaper, so it's popular now. Today you can see many kinds of chocolate in the supermarket. Which is your favorite?

1	The Chocolate Story (1) Where did the history of chocolate begin? (2) How did Japanese people learn about chocolate? (3) Why is chocolate popular today?	2	The Chocolate Story (1) Who was the first Japanese person to have chocolate? (2) Who made chocolate first in Japan? (3) Why is chocolate popular today?
3	The Chocolate Story (1) Where did the history of chocolate begin? (2) Why do many people like chocolate? (3) Who was the first Japanese person to have chocolate?	4	The Chocolate Story (1) Who made chocolate first in Japan? (2) How did Japanese people learn about chocolate? (3) Why do many people like chocolate?

「発表原稿」、「話の流れを示すスライド」とともに全て英文で示されており、日本語が介在していない。いわゆるパラグラフ・リーディングにより、各段落の概要と文章全体の流れを把握する力が求められる。英文の細部を読み込む「精読」と、限られた時間で英文の概要を把握する「多読・速読」の指導をバランスよく行いたい。

○ 大問 8 (「読むこと」【活用】)

8 次の英文は、英字新聞に掲載されたある中学生からの意見です。これを読んで、この生徒に向けてあなた自身の考えとその理由を英語で書きなさい。

These days, taking pictures and video is getting easier.
Which do you often use to remember good times, pictures or video?
I usually take video to remember good times. I think that video is better than pictures because it has sound.
What do you think?

読んで把握した内容について、自分の考えを書いて伝えることができるかどうかをみる出題であり、先述のとおりアンケート(右図)が付随している。

分類上は「読むこと」となっているが、「書くこと」との技能統合型の出題であり、文章の要点を捉えるとともに、自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く力を身に付けられるような指導を継続して行うことが求められる。

アンケート目

当てはまるものを1つずつ選んでください。

(1) 問題8の英文を読んで、どれくらい内容が分かりましたか。

- 1 よく分かった
- 2 どちらかといえば分かった
- 3 どちらかといえば分からなかった
- 4 ほとんど分からなかった

(2) 問題8を解答したときのあなたの状況に最も近いものはどれですか。

- 1 書く内容が思い浮かび、英語が書けた
- 2 書く内容は思い浮かんだが、英語が分からなかった
- 3 書く内容が思い浮かばなかった
- 4 解答する時間が足りなかった

○ 「話すこと」大問 2 (【活用】)

パソコンとヘッドセットを使用し、英語でのやり取りの内容について即興で適切に応じることができるかをみる出題である。

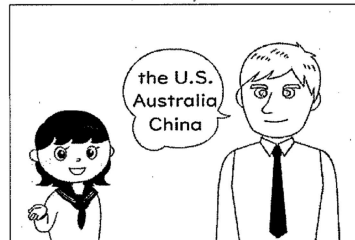
右に示した英文はあくまでスクリプトであり、実際は音声でのやり取りを聞いて内容を把握することになる。

今回の学習指導要領改訂で着目すべき点として「話すこと」が[やり取り]と[発表]に分けられたこと、そして目標に「即興で」という文言が加わったことが挙げられる。

即興で応じる力を育成するには、話すための原稿を事前に用意してその内容を覚えたり、話せるように練習したりするなどの準備時間をとることなく、相手とやり取りするような活動に計画的・継続的に取り組ませることが必要である。

また、「話すこと」の指導に当たっては[やり取り](双方向)なのか[発表](一方向)なのか、また話す内容について事前に準備する時間がとれるのかどうかといった場面や状況について明確にして進めたい。

大問2 あなたは、ナオミと、イギリスから来たりチャード先生の3人で話しています。まず、ナオミとリチャード先生が、2人で話している場面から始まります。その後、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、英語で応じてください。解答時間は20秒です。それでは、始めます。



R: I want to visit three countries: the U.S., Australia, and China.

N: Why do you want to go to the U.S.?

R: Because I want to see a baseball game there. I'm interested in baseball.

N: I see.

R: And I want to go to Australia again.

N: When did you go?

R: Two years ago. It was a lot of fun.

N: Oh, I want to visit Australia.

R: Great!

(2人が画面の先の生徒の方を見る)

N: Well, do you have any other questions for him?

大問2では、ナオミとリチャード先生の会話を聞いて、どれくらい内容が分かりましたか。

- 1 よく分かった
- 2 どちらかといえば分かった
- 3 どちらかといえば分からなかった
- 4 ほとんど分からなかった

3 全体を通して

各大問のリード文を読む(聞く)と、目的や場面、状況について詳細に説明されていることがわかる。日々の授業においても、どのような場面や状況において何を目的に行うのかについて明確に示し、十分に理解させた上で活動に取り組ませることが重要である。